



All Rikkyo Tennis

セントポールテニスクラブ会報

発行所
セントポールテニスクラブ

発行人 白 寄 誠 爾
山 崎 絢史郎
高 津 香和奈

女子11年ぶりの優勝・男子4部2位

—— 男女共、入替戦は惜敗 ——



「女子11年ぶりの優勝」

平成21年度の関東大学テニスリーグで女子は、平成10年に2部優勝1部昇格を達成した時以来の3部優勝を勝ち取りました。しかし、2部昇格を賭けた東海大学との入替戦は、雨中のオムニコートという立教にとつては最も経験の少ない状況での戦いとなり残念ながら、2部昇格はなりません。男子は、4部2位となり、3部5位の関東学院

大学との入替戦に臨みましたが、4対5で惜敗し女子と同じく昇格はできませんでした。

男子は平成17年に、女子は平成18年に昇格して以来毎年入替戦を戦い、あと一歩で昇格を逃がしていますが、選手層も年々厚くなり、来年こそは、男子、女子共に昇格を勝ち取ってくれるものと信じております。OB・OGの皆様方のお一層のご支援、ご声援をお願い申し上げます。

「自分のテニス」

テニス部長 伊沢 和平
選手・現役諸君・監督・コーチ・OB・OGの皆様、リーグ戦ご苦労様でした。皆様の奮闘のおかげで、昇格はならなかったものの、私は、ハラハラ、ドキドキ、ずいぶん楽しませていただきました。そして、多数の方々がかけるサポート体制は大したものだと思います。さて、このような皆の大きな期待が寄せられる一方で、選手は、プレッシャーで体が動かなくなってしまうような状況もみかけられました。仕方ないこととはいえ、選手はなんとか「自分のテニス」をやりたいと欲していると思います。各人、「こういう雰囲気でのテニスになれば、どんな相手にもそこそこやれるぞのテニス」があるはず。それが「自分のテニス」です。そういうテニスに持ち込む術を本番までに磨いてください。

第十四回総会 開かれる

去る六月二十七日(土)セントポールテニスクラブ第十四回総会が、多数のOB・OGの方々のご出席を頂き池袋キャンパスの第一食堂にて開催されました。会計報告・予算・事業計画など慎重な審議が行なわれました。総会後は現役幹部を交え和やかな懇親会が開かれました。

『会長挨拶』

S42年卒 出口 誠之
セントポールテニスクラブの会員の皆様に於かれましては、この一年間大学テニス部に絶大なご支援、ご指導を頂きまして誠に有難う御座いました。

昨年の総会におきまして会長をお引き受けいたしました。この間の、藤原理事長を中心に、理事会の運営、各委員会の活動、総監督、男女両監督、コーチの方々の、時間を割いて協力頂いた、献身的な活躍に対し改めて御礼申し上げます。

又、伊沢部長先生、日向野副部長先生に於かれましては、リーグ戦の応援に参加頂いたり、現在進めております第二回の体育会活動奨励金『活性化プロジェクト計画書』

立案の、ご指導ご提案を頂き、今回の支援金の交付を受けるべく協力頂いております事に御礼申し上げます。

さて本年のリーグ戦は男女とも昇格できず残念な結果に成りました。しかし少しずつですが、現役強化の各委員会の対策が実り始めており、来年、再来年には良い結果が出るかと確信しております。

現役諸君は、この歴史ある立教大学テニス部の一員として、四年間、テニスの技術的な向上はもとより、学業を含め、人間としての向上を高めてもらい、その第一歩として、男子部は三部昇格を、女子部は二部昇格の実現に向けて頑張ってください。

二〇一六年にはテニス部創部一〇〇周年を迎えます。後六年後には男子部、女子部とも一部リーグの中で優勝を目標に頑張っている事を願っております。

二一年度もOB・OGの皆様から年会費、一〇〇周年の募金、激励会への寄付等、ご支援、ご協力を戴きましたこと心から感謝とお礼申し上げます。と、ともに、今後のテニス部の発展に引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。機会を捉えさせていただきます。

『学生諸君へ』

S60年卒 藤原 誠之
学生諸君、皆さんは「PDCA」という言葉を聞いたことがありますか？Pはプラン、Dはドゥ、Cはチェック、Aはアクション、つまり自分で考え、やってみて、見直して、修正するということです。

私は、採用のため年に200人の学生と面談しますが、ポイントが「会社のために仕事ができる社員に成長するかどうか」です。

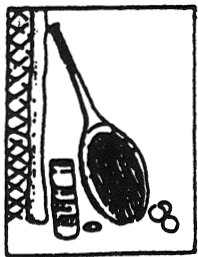
「PDCA」を自分でしっかり回せる人は仕事に面白くなり、どんどん仕事力がアップします。学生時代にそのような経験をしているかどうかを見るわけです。

これはテニスにもそのまま通じるものです。P自分にはどんな練習が必要か考え、D練習や試合で試して、C何が有効で何がダメだったかを検証し、A練習方法などを修正するのです。

「PDCA」サイクルは、自分で考え、自分で回すのでなければ身につきません。監督やコーチに言われたことをやっているだけでは、PDCAを回せるようにはなりません。

やったことがすぐに結果に現れる体育会活動は、PDCAサイクルを身に付けるうえで最適な機会です。

各人が一年間しっかりとPDACを回して、来年のリーグ戦に向けて、テニスの実力とともに社人に向けての魅力も成長させてください。期待しています。



平成21年度リーグ戦結果

平成21年度関東大学テニスリーグ男子第四部結果表

Table with 9 columns: University, 上智大学, 立教大学, 千葉大学, 成城大学, 学習院大学, 横浜国立大学, 勝点, 順位. Rows show match results between these universities.

入れ替え戦 立教大学 4-5 関東学院大学

平成21年度関東大学テニスリーグ女子第三部結果表

Table with 9 columns: University, 立教大学, 東京農業大学, 東洋学園大学, 学習院大学, 東京女子体育大学, 関東学院大学, 勝点, 順位. Rows show match results between these universities.

入れ替え戦 立教大学 2-5 東海大学



男子主将 原田 秀太

Text block containing the male captain's interview, discussing the team's performance and goals for the next year.



女子主将 渡邊 梓

Text block containing the female captain's interview, reflecting on the season and the team's future.



男子主務 阿部 徹

Text block containing the male section chief's interview, discussing the role of the section chief and team management.



女子主務 北沢 佳奈

Text block containing the female section chief's interview, discussing the role of the section chief and team management.

新幹部紹介



男子主将 緒形 昌輝

Text block containing the introduction of the new section chief, including his background and goals.



女子主将 横山 由貴

Text block containing the introduction of the new section chief, including her background and goals.



男子主務
山崎 絢史郎

本年度主務を務めさせていただくことになりました。コミュニケーション福祉学部スポーツウエルネス学科二年の山崎絢史郎です。

私は、近年では例のない二年生の主務という立場もあり、交代した当初は果たして自分に当てる大役を務められるのか、不安でいっぱいでした。しかし、選手として二年間リーグ戦に出場した経験など、昇格を目指す主務として、私にしかできない仕事があることに気づき、責任と同時に誇りを持って主務を務めようと思えました。

また、個人の目標にインカレ出場を掲げ、関東一強い主務を目指します。私自身、香川県からテニスをするために立教に進学して、このままの戦績、実力で4年間を終えるわけにはいきません。今年にはインカレ出場を目指して、そして、ご指導、ご支援いただいているOB・OGの方々に期待に応えて、最後には必ずやチームの目標である昇格を果たしたいと思っております。

学年はまだ二年ですが、常に今年が最後の年であるつもりで、一年間悔いのないよう全力で仕事とテニスに向き合います。そして今年が主務として、何よりも誰よりも、立教大学体育会テニス部とチームの主務として、OB・OGの方々の思いを受け継ぎ、昇格に向けて全力を尽くします。今後はとも宜しくお願ひ申し上げます。



女子主務
高津 香和奈

本年度、主務を務めさせていただきますことになりました。インカレ出場を目標に、高津香和奈です。

昨年一年間自分自身と向き合い、新しい自分を見つけてきました。今年からは、先輩から教わったことを実践し、チームのために戦う覚悟を決めました。また、インカレ出場を目標に、今年こそは昇格を目指します。そして、ご指導、ご支援いただいているOB・OGの方々に期待に応えて、最後には必ずやチームの目標である昇格を果たしたいと思っております。

学年はまだ二年ですが、常に今年が最後の年であるつもりで、一年間悔いのないよう全力で仕事とテニスに向き合います。そして今年が主務として、何よりも誰よりも、立教大学体育会テニス部とチームの主務として、OB・OGの方々の思いを受け継ぎ、昇格に向けて全力を尽くします。今後はとも宜しくお願ひ申し上げます。



男子副将
米津 吉晃

本年度副将を務めさせていただきますことになりました。インカレ出場を目標に、米津吉晃です。

昨年一年間自分自身と向き合い、新しい自分を見つけてきました。今年からは、先輩から教わったことを実践し、チームのために戦う覚悟を決めました。また、インカレ出場を目標に、今年こそは昇格を目指します。そして、ご指導、ご支援いただいているOB・OGの方々に期待に応えて、最後には必ずやチームの目標である昇格を果たしたいと思っております。

学年はまだ二年ですが、常に今年が最後の年であるつもりで、一年間悔いのないよう全力で仕事とテニスに向き合います。そして今年が副将として、何よりも誰よりも、立教大学体育会テニス部とチームの副将として、OB・OGの方々の思いを受け継ぎ、昇格に向けて全力を尽くします。今後はとも宜しくお願ひ申し上げます。



女子副将
小田 彩織

本年度副将を務めさせていただきますことになりました。現代心理学部心理学科二年、小田彩織です。

昨年一年間自分自身と向き合い、新しい自分を見つけてきました。今年からは、先輩から教わったことを実践し、チームのために戦う覚悟を決めました。また、インカレ出場を目標に、今年こそは昇格を目指します。そして、ご指導、ご支援いただいているOB・OGの方々に期待に応えて、最後には必ずやチームの目標である昇格を果たしたいと思っております。

学年はまだ二年ですが、常に今年が最後の年であるつもりで、一年間悔いのないよう全力で仕事とテニスに向き合います。そして今年が副将として、何よりも誰よりも、立教大学体育会テニス部とチームの副将として、OB・OGの方々の思いを受け継ぎ、昇格に向けて全力を尽くします。今後はとも宜しくお願ひ申し上げます。



女子副将
手塚 絢

本年度、副将を務めさせていただきますことになりました。経営学部国際経営学科二年、手塚絢です。

昨年一年間自分自身と向き合い、新しい自分を見つけてきました。今年からは、先輩から教わったことを実践し、チームのために戦う覚悟を決めました。また、インカレ出場を目標に、今年こそは昇格を目指します。そして、ご指導、ご支援いただいているOB・OGの方々に期待に応えて、最後には必ずやチームの目標である昇格を果たしたいと思っております。

学年はまだ二年ですが、常に今年が最後の年であるつもりで、一年間悔いのないよう全力で仕事とテニスに向き合います。そして今年が副将として、何よりも誰よりも、立教大学体育会テニス部とチームの副将として、OB・OGの方々の思いを受け継ぎ、昇格に向けて全力を尽くします。今後はとも宜しくお願ひ申し上げます。

女子部優勝祝賀会

去る十月十七日(土) ブラッセリーフィガロ青山店にて女子硬式テニス部三年優勝祝賀会を開いていただきました。今年のリーグ戦も二年への入替戦にかかったものの、二年昇格という三年、悔しい思いでいっぱいでした。しかし、一年ぶりに三年優勝という結果を残すことができた事は喜ばしいこととして受け止めておきます。今回の会では通常の正装やテニスウェアではなく、セミフォーマルという形で素敵なお店を貸し切っていたいただきとても素敵な会でした。今回引退される四年生をはじめとした部員・OB・OGの皆様方と歩んできた一年間を振り返るとともに、今年度新幹部として来年のリーグ戦への道はスタートしていること改めて感謝し、来年こそ四年生の思いを必ずや晴らすように思いました。

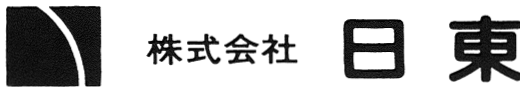
今年のリーグ戦もまたたくさんOB・OGの方々のご支援・ご声援のもと入替戦にまで臨むことができました。優勝することができ、OB・OGの皆様・H十三卒・入部圭介さんのご支援のもと、このように感謝の気持ちでいっぱいです。

皆様の思いを来年度の二年昇格へ必ずやつなげたいと思っております。この先もご指導・ご鞭撻の程宜しくお願ひ致します。



日東の防火水槽

ボックスカルバート・ニューウォルコン
BiG-u・ロングu・緑化ウォール



三町令子・原田正明 (S42年卒)

〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田5-7-1
TEL 0492-83-5181代
FAX 0492-83-5186



公和自動車交通株式会社

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町3番3号

電話 (3269) 3281番 (代表)

(36年卒 山中 博司)

新入生紹介

1年 木田 耕平



埼玉県私立立教新座高等学校出身、経済学部経済学科1年の木田耕平です。私は、立教新座中学、高校ともテニス部に所属し、高校では部長を務めさせて頂きました。立教新座のテニス部は先輩方がとても強く、コート数も多かったため練習環境が整っており、テニスに打ち込むことができ、そのために、大学でもテニスを続けたいという気持ちで、立教新座のテニス部へ入部を決めました。入部当初は練習が厳しく、一年生としての仕事になかなか慣れず、体力的にもつらい日々が続きました。しかし、先輩方のおかげで、頑張ることができました。今年のリーグ戦は、残留という残念な結果に終わってしまいました。立教大学体育会テニス部の熱い思い、素晴らしい雰囲気、素晴らしさを改めて実感しました。今年、今までの以上に努力し、部のために尽力し、絶対に昇格したいです。また、文武両道を目指し、学業面でも努力していきます。立教大学のような素晴らしい環境でテニスができるのは、OB・OGの方々のご支援、ご指導のおかげです。昇格に向けて頑張っていきますので、今後とも宜しくお願い致します。

1年 松沼 豊人



福岡県私立柳川高等学校出身、観光学部交流文化学科一年の松沼豊人です。私は小学校四年生の時にテニスを始め、中学校三年生の時、環境を求め柳川へ転校をしました。レベルの高い環境で練習や生活をしていく中で、何度も挫折を繰り返して、苦しい経験をしました。本気でテニスをしたいという気持ちが、3年間で少しずつ強くなっていき、高校を卒業し、更なるレベルアップを目指すから、一年目から試合や練習を多くできる環境が必要だと感じ、立教大学へ入学したとたん、入学後、本当にたくさんの試合に出させて頂き、素晴らしい環境でテニスができていくことを感じています。また、たくさんのOBやOGの方々に会い、接するなかで、自分の言葉や態度も向上し、自分のモチベーションを上げることに励んでいます。リーグの期間中も本気で練習し、先輩方から励ましの言葉を頂くだけでなく、昇格するためのサポートも頂きました。今年、今までの以上に努力し、部のために尽力し、絶対に昇格したいです。また、文武両道を目指し、学業面でも努力していきます。立教大学のような素晴らしい環境でテニスができるのは、OB・OGの方々のご支援、ご指導のおかげです。昇格に向けて頑張っていきますので、今後とも宜しくお願い致します。

1年 金森 玲子



男子部マネージャーを務めさせて頂いておられます。観光学部観光学科1年・金森玲子です。私は今回初めてマネージャーに挑戦させて頂いたのですが、『やり甲斐』と『仕事』を見つけている力が身に付いたように感じています。私にとって『ありがとう』や『お疲れ様』の言葉が何より大きなやり甲斐です。リーグ戦の時期を含め様々な方からの温かいお言葉のおかげで疲れを忘れて何度も笑顔にさせていただけました。また、自主性も得ることができ、一部のために何かをしようと考えている自分自身が実は大いになっていることにも気が付きました。リーグ戦を経て、部としては、残留という満足いかない結果となりました。また、試合を通じた甲斐と前進を感じることができた一ヶ月間、自分と自負しております。そしてOB・OGの皆様のご支援に改めてお礼を申し上げます。皆様からの温かなご支援の中で、立教大学体育会テニス部のマネージャーとしての誇りを持つさせて頂いたことと共に、個人的にも優しく声をかけていただき、度々お声をおかけいただき、感じておりました。今後ともより良い環境作りにお力添えをさせていただきます。私とチームと一丸となつて精一杯頑張りたいと思います。変わらぬご支援をどうぞ宜しくお願い致します。

1年 谷川 麻里絵



私立富士見丘高等学校出身、社会学部メディア社会学科1年、谷川麻里絵です。私はテニス部に入学してから約八ヶ月間の間に、本当にたくさんの経験をするのができました。その中でもやはり初めてのリーグ戦は、私にとっても貴重な経験となりました。今回のリーグ戦で、ダブルスを中心に試合に出させてもらい、自分に足りない所がたくさん見つかりました。大学の4年間は本当にあつたという間に終わってしまうので自分で上手く時間を活用し、一日一日を無駄にせず日々努力して、自分の課題を克服していきたいと思っております。そして来年のリーグ戦では、今回の経験を活かし悔しい思いをしないように頑張っていきたいと思っております。また、試合を通して応援やサポートの力の大きさを感じました。応援やサポートをしてくれる家族や友人、そして練習を見てくださるコーチや監督など周りの人への感謝の気持ちを忘れず練習に取り組みしていきたいと思っております。また、あと何ヶ月か経つとすぐに後輩も入学してきます。仕事の面においてもテニスの面においてもしっかりとしていきたいです。先輩方のような後輩に尊敬されるような人になれるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

1年 細田 有里



浜松市立高校出身、コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科一年の細田有里です。よろしくお祈り致します。私は、小学校三年生の時からテニスを始めました。高校では硬式テニス部に所属し、全国選抜やインターハイを経験することが出来ました。リーグ戦では、レギュラーに入る事ができず、サポート側としてしか貢献することができませんでしたが、先輩方の必死の試合姿をみて多くのことを学ぶことができました。また、不安なときや落ち込んだときに温かい言葉や励ましてくださる先輩方や同期がいて、高校生のとき、大したことないと感じてきた自分の課題を克服していきたいと思っております。そして来年のリーグ戦では、今回の経験を活かし悔しい思いをしないように頑張っていきたいと思っております。また、試合を通して応援やサポートの力の大きさを感じました。応援やサポートをしてくれる家族や友人、そして練習を見てくださるコーチや監督など周りの人への感謝の気持ちを忘れず練習に取り組みしていきたいと思っております。また、あと何ヶ月か経つとすぐに後輩も入学してきます。仕事の面においてもテニスの面においてもしっかりとしていきたいです。先輩方のような後輩に尊敬されるような人になれるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお祈り致します。

1年 杉原 愛



広島県立福山誠之館高校出身、社会学部メディア社会学科1年杉原愛です。私は、女子部のマネージャーを務めさせて頂いておられます。普段の練習では、部員の練習風景をビデオに撮ったり、けがのケアをしたり、球出しをしたりしています。プレーで部に貢献できない分、サポートとして部の力になれるように、部員のことを一番に考えて行動できるマネージャーになりたいです。マネージャーという立場だからこそ、客観的に気づけることもあるだろうし、マネージャーでなければ出来ないことも多々あります。女子部にもやっぱりマネージャーがいなくてはならないと思います。いろいろなことに気付いて自分でも仕事を探していかなければいけないと思っております。私の理想は、部員の心の支えになれるマネージャーです。だから、プレーヤーのみんながきつい練習をしている時こそ私が大きな声を出して部を盛り上げていきたいです。私も、みんなと気持ち一つにして昇格という目標に向けて日々の練習に取り組みしていきます。プレーヤーと同じくらい熱い気持ちを持って部活に臨めるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

テニスを通じて コミュニケーションをめざす

テニスに情熱のある社員コーチ・アルバイトコーチを募集しています。(女性コーチも大歓迎) 下記ファミカスポーツ本社までお問い合わせ下さい。

- ファミカテニスショップ**
 - 池袋店(西武百貨店8階) Tel.(03)5992-8943
 - 新宿店(伊勢丹百貨店新館6階) Tel.(03)3352-0124
 - 品川店(品川プリンスホテル内238) Tel.(03)3447-3068
 - 外販部(高井戸インター横) Tel.(03)5316-1633
- ファミカテニススクール**
 - 相模園会場(京王線仙川) Tel.(03)3307-9203
 - トムインドア会場(中央線豊田) Tel.(0425)85-0201
 - 横浜インドア会場(横浜線大口) Tel.(045)401-5611
 - ス/白金会場(港区白金台) Tel.(03)3444-5811
 - 市川会場(京葉線市川塩浜) Tel.(0473)99-8383
 - 高井戸会場(京王線の頭線高井戸) Tel.(03)3333-7842

あなたのテニスコンサルタント **ファミカスポーツ** 〒168-0081 東京都杉並区宮前2-14-28 TEL 03(5930)8881 FAX 03(5930)8882

営業品目
 電磁鋼板・各種鋼板の販売
 スリット・シャー・プレス加工

SANSEI

株式会社 **三誠商會**
SANSEI SHOKAI CO.,LTD.

代表取締役社長
出口 誠之 (S42卒)

〒279-0025 千葉県浦安市鉄鋼通り1丁目2番7号
 TEL. 047-353-4411
 FAX. 047-353-4412

アイファッションと難しいメガネの専門店
王子メガネ

〒114-0002 東京都北区王子1-9-1 電話 3913-1549
 48年卒 内原 康雄

(各種コンタクトレンズ取扱っております)

O.B.O.Gの声

「ひやり」と

S 32年卒 立花 雍一

久しぶりで上智大、成城学園大と入替戦の関東学院大戦を些か興奮しながら観戦して一勝の重さを痛感しつつ来年こそ三部昇格の手応えを確信しました。具体的な戦略と強化は監督・コーチにお願いすることにします。一方、佐久間選手の「心臓がドキドキして」と言いながら控え目ですが一生懸命な応援は暖かく大変好感が持てる姿でした(最近マナーが悪いパパ・ママが目立つのに)。

同期の小宮山和知家と同じで我が家も四世代続くテニス一家で親父・長男・孫娘二人と柏LTC↓TCC(吉田記念テニス研修センター)にお世話になっていきます。副島光彦さん(昭和34TTC評議員)ご夫妻に時々お会いします。車椅子のグラウンドスラマー國枝選手と丸山コーチの練習もハードです。十一月は静岡高校テニス部関東OB会で今年も明治神宮外苑テニスクラブへ山中博司さん(昭和36元会長)と参加します。

小西一三さん(昭和37元会長・プロ)の全日本選手権の単・複優勝おめでとうございます。単は初戦から生川選手との決勝まで全試合ストレート勝ちだったようですね。現役の選手弟妹に色々話をしてもらえる機会があると良いですね。

「人とのつながり」

S 60年卒 永田 良子

去る十月十七日に表参道にて女子部のリーグ優勝を祝う会が行われまして。当日は生憎の雨天で島総監督、伊沢副会長や中出席を得て心温まる会となりました。浅見副会長のお話からリーグ優勝は一年振りという事を知りました。私がリーグ戦の応援に行かせて頂くようになったのは十年になるのだと歳月の早さを感じました。その時は入替戦にも勝利して一部に昇格となりました。一部昇格の祝勝会に参加させて頂いた事をきっかけに私のOGとしての歩みが始まりました。私の現役時代と同じ廣瀬監督とさせて頂いた祝賀会に参加させて頂いたのが四年生の時に一年生だった高山君と清君がコーチということを知りました。とても懐かしく感じ、以後少しずつ總會や納会、そして試合の応援にも足を運ぶようになり、私が現役時代に大変お世話になったOBの秋元さんや坂井さんご夫妻をなさったことがあり、私も理事の一人になりました。会に出席させて頂いた。会中に現役時代には存じあげなかつたOBの方々もお話させて頂くようになり、また現役の部員とも顔見知りになり、卒業後は同じOGとしてリーグ戦を応援するようになり、戦ううちに立教のテニス部を通じてこの十年間で多くの人と交流する事が多くなりました。私は仕事柄ですが、テニス部を知ることができました。これからはOB、OGとして現役部員との交流を大切にし、OGとして頑張る事を私なりに頑張っています。

「三部昇格の壁」

H 10年卒 岡 利之

九月二十九日の三部入替戦、私は朝から応援に向かった。実際、三部リーグを見ていなかった私は関東学院大学に高い壁を感じてしまっていた。フリースタンプ、ボレー、リターンが殆んど返って来るのだ。結果は柱の田村・佐久間ペアが一本取ったものの、苦しいスタートを切り、4対5で立教の負けが決まった。私は今年度のダブルスを見て、改めて「ダブルスの基本の強化」と「速いボールを打つより速く動くボールをする事」が必要と感じます。又、私は三部復活のカギはエースの田村・佐久間が関東学生になる事と考えます。両選手は完成度が高く関東学生になれ、その力は部内に納まってしまうにいます。二人が関東学生になれば、三人目四人目の選手が必ず出てきますし、資格者を得たテニス部全体がより質の高い、ミスの少ない練習ができ昇格に繋がると考えます。私が三部昇格を目指した頃、山田昇コーチは、「三部の選手以上の練習を！」とよくおっしゃっていました。三部の選手は入替戦で勝つという事は、三部に在籍している以上常に三部と対戦する以上は試合が大学と互角以上の試合ができなくては行けないという事です。四部のトップで満足しては駄目です。ここぞというタイミングでポーチに出れば、相手の逆をつく為に、各自が四部より一ランク上のレベルになる必要があり、現役の皆さんはまだまだ磨ける部分が多いと考えます。三部昇格の壁は高いですが、質の高い練習をすれば必ず結果がついてくると思います。是非、怪我だけはしないよう、冬は次のリーグ戦をハイレベルに仕上げて選手である事を期待しています。

「入替戦」

H 13年卒 井口 郁子

毎年四月二十九日になると「入替戦」が思い出されるほど、毎年入替戦のある四年間を過ごしました。

自由選抜入試が開始された三年目に入部し、三部から二部、二部から一部と昇格し続け、最後の一年は一部で二年目を迎えました。同期と「入替戦のない年を過ごしてみたいよね」、なんて会話をしていたのが懐かしく思い出されます。

なんと少しでも一部を守りたい、そんな思いで最後の一年間を過ごし、入替戦では本当に多くの方々に応援に駆けつけていただき一部残留を果たすことができました。

ちょうど一年後の四月二十九日に浅見理事長(当時)に「井口は勝つ自信があったのか」と聞かれ、迷いなく「はい」と答えたのを覚えています。今となっては当時の気持ちを詳細に思い出すことはできませんが、あの日、あの年私たちが「負け」たことは選択肢にありませんでした。あの勝利はただの偶然だったのかもしれない。ダブルスの1の平原・廣瀬の試合で、流れを変えた「あのポイント」がなければ、結果はまったく違うものだったのかもしれない。太田、平原、山野、松井、廣瀬、吉井、寺岡の全部員は誰もが負けることが頭によぎらない一日を過ごせたのではないかと思います。

卒業する際に「君たちには帰る場所がある」と言ってくれたのは高山コーチ(当時)でした。卒業後トレーナーとして様々なチームに関わっています。主体的に物事を考え、取り組めたテニス部での四年間は貴重な経験となりました。そして今なおみんなと戦ったあの日々が前に進む力となっています。

中学・高校通信

立教池袋高校

顧問 吉田 清典

「この一年」

顧問 吉田 清典

昨年の秋の関東選抜東京都選考会で都第6位入賞を果たし、春のシードをなんとか死守した新チーム。体育会テニス部に激ス練習を中心に臨んだ春合宿を経て、主将久保山裕ハイ予選。学習院に勝利したものの堀越に惜敗。秋と同位の都第6位となりました。

引退した高校3年生には関東大会(団体)まで連れて行ってもらう。部の伝統に大きな財産を残してくれたと嬉しく思っています。

新チームの役員(現高二)は主将・波多野正樹、副主将・川添貴史、主務・鈴木教之、副主務須田滉也。今秋の新人戦(個)で屈辱のポイント「0」となり、創部以来の大きな挫折を経験しました。秋の目標を東京都私立中学校・高等学校テニス選手権大会(団体)へ移し、ベスト8を目指して現在駒を進めています。

今後とも大学体育会の強力なバックアップ期待しつつ、どん底からの脱却です。

立教新座中学

顧問 久保 裕一郎

「2009年活動報告」

顧問 久保 裕一郎

立教新座中学校テニス部創部10年目の今年度は厳しい1年でありました。4月下旬より始まった地区大会では、主将の江島は個人戦において単複ともに県大会出場を果たせました。県大会では強豪選手がひしめく中、健闘しました。入賞には至りませんが、3回戦で伊奈学園中学校と対戦し、わずかの差で涙を呑み、この大会をもって3年生は引退しました。

こうした失意の中、新主将の斎藤を中心に1・2年生を合わせて60人で新たなチーム作りが始まり、また夏合宿での強化が課題となりました。

夏合宿は今年も山梨県忍野で行い、本校OBの小井土コーチ、大学生コーチの指導で強化を行いました。また今年度は大学総監督の中島監督がお見えになり、技術面での御指導を頂きました。

そんな充実した夏合宿後に臨んだ関東新人県予選会では、準優勝する事ができました。その後の行われた新人大会でも、主将をはじめ、シングル3組が3名、ダブルスでも3組が県大会に出場し、来年以降に向けて、明るい材料が持たせています。

現在は11月に行われる関東新人大会に向けて、練習に励む毎日を送っています。

みんなで楽しく食べ飲み家

椿 三十郎

原宿店 **炭火串焼きと手造りお料理**
渋谷区神宮前4-31-11原宿TKビルB1F
03-3408-9494
<http://gnavi.joy.ne.jp/gn/jp/g241900s.htm>

池袋店 **全国の地酒と旬菜料理**
豊島区西池袋1-40-5名取ビル3F
03-5951-3355
<http://www.fic-in.com/>

*年中無休 18:00~4:00
*小人数から貸切までパーティー受付中
3500円~(飲み放題プラン有り)

54年卒 秋元英晴

流動性のある画期的な埋戻し材
流動化処理土 製造販売
建設残土のリサイクル



三重建材株式会社

梅田 憲司 (50年卒)

本社 〒174-0043 東京都板橋区坂下3-28-24
TEL 03-3966-8491 FAX 03-3967-1860
プラント 〒340-0802 埼玉県八潮市鶴ヶ島根仲通り502-1
TEL 0489-98-2716 FAX 0489-97-9150

ポスター・カタログ・パンフレット等
カラー印刷物のご用命は



和宏印刷株式会社

☎115-0051 東京都北区浮間5丁目17番20号
TEL 03 (3969) 9 4 8 1 (代表)

浅見 豊 (S 49年卒)

「天皇・皇后両陛下とのテニス」

S 27年卒 岸本 駿二

一年以上も前の昨年八月二十七日、軽井沢会テニスコートで両陛下とミックスダブルスで光栄にもお相手をする機会に恵まれた。

軽井沢会コートは、旧軽井沢の中心部に在り、一九一七年を第一回とする歴史あるトーナメント(軽ト)を毎夏開催、出場したOBも多く居て承知のことと思う。また昭和三十二年夏、当時の皇太子殿下と正田美智子さんが初めて出会われたテニスコートとしても有名である。

皇太子・同妃殿下時代には、ほぼ毎夏ご静養で一週間ほど滞在され、コートにもその都度数回お出ましなられメンバーに交じってテニスを楽しまれた。しかし即位後は平成二年にコートにお見えになって以降は警備の問題もあってか、ご静養で滞在されることはあってもコートへのお出掛けはなく、昨年想い出のテニスコートへのお出ましは実に十八年振りのことであった。

八月二十七日四時過ぎに両陛下がお見えになり「ミックスでやりましょう」と、誰がお相手するかは事前に決めてはいなかったが、年齢のバランスを考慮して、陛下より三歳年上の私と、皇后さまより少し若い遠山夫人(名古屋大テニス部OG)とのペアでお相手することとなった。乱打のあと、陛下のサーブでゲーム開始、試合

は一一、二二...と互いにゲームを取り合う好ゲームとなり、四四となったところで、私から「五オールになりましたら引分ですよろしいでしょうか」と申し上げたところ、陛下が「それで良いですね」と、試合は結局六四で岸本・遠山組が接戦を制する結果となった。試合終了の握手のとき「良いゲームで大変楽しかったです」とのお言葉。

約一時間に及ぶテニスのあとクラブハウス二階でメンバー数人と狭いテニールを囲んでコーヒー・ケーキを召し上がって頂いたが、両陛下は何度も「変っていませんね」「懐かしい」と。

陛下は「運動は良いですね、来る前の検査数値(前立腺癌)が良くなっています」と、七月頃から夕方皇居内で宮内庁職員と頻りにテニスをされて居られた由。私も「十五年前に心筋梗塞をやりましたが、今日のように元気にしています」など十分ほど歓談。侍従から「そろそろお時間です」と声が掛かり名残惜しそうにお帰りになられた。

両陛下をお見送りのあと、TBSの取材を受け、ご成婚五十周年記念関連番組で放送された(プレーは報道規制で放送無し)ことで、多くの友人からどうしてお相手を、緊張しなかったか、両陛下のテニスは、など質問された。

お相手することになったのは、陛下と同年代であることのほか、メンバーの古参で、皇太子時代のほか平成二年にも天皇・

皇太子ペアと男ダブルでお相手したことがあり顔馴染み?ただこれまでは男ダブルばかりで、皇后さまとは今回が初めてであった。

プレーで緊張することはないが、コート南側は道路に面し、観光客・近所の人で鈴なり状態「美智子さま!」と声が掛かり、両陛下の好プレーには大きな拍手と歓声、全くのアウトエー状態で、その方が気になって仕方なかった。

陛下は幼少時からテニスに親しまれ、名プレーヤーのコーチを受けておられ、基本に忠実でミスの少ない堅実なプレースタイル。今でも驚くほどよく走られる。

皇后さまは、聖心女子大学時代の昭和二十九年関東学生複準優勝、昭和三十年新進単で宮城(早)を破って優勝、同年度関東学生女子ランキング第四位。この事実からして実力の程は知れよう。今でも正確で鋭いショットを打たれる。

立教大学庭球部で培ったテニスを、あと半年で八十歳のこの年まで健康で続けることができ、両陛下のお相手をさせて頂いた幸せを強く感じている。

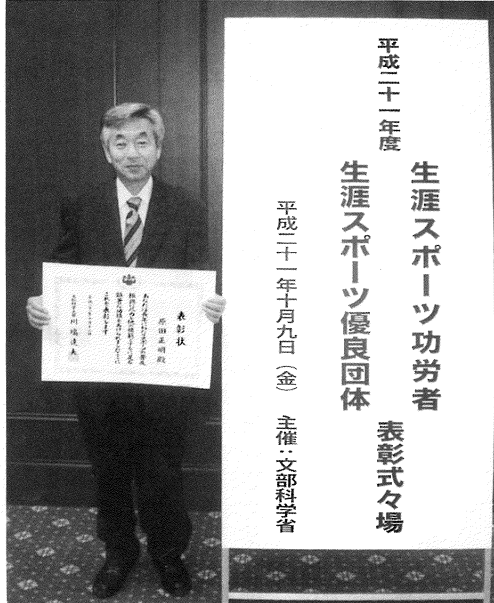
昨年暮れ山本実先輩に吉祥寺でご馳走になったとき「OBで両陛下とテニスをしたなど聞いたことないぞ、ARTに書け」と言われ披露することにした。以上

「生涯スポーツ功労者」

昭和42年卒の原田正明先輩が平成21年度の生涯スポーツ功労者の表彰を文部科学省より受け、10月9日文部科学大臣より表彰状並びに銀盃を贈呈された。

この賞は、地域におけるスポーツの健全な普及発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者、団体に贈られるもので、各都道府県教育委員会等の選考を経て選ばれ、本年度は個人148名、127団体が表彰を受けた。

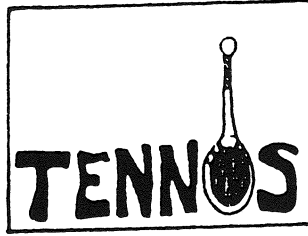
原田先輩は、坂戸市テニス協会会長他、昭和51年から現在に至るまでの永年の功績が認められたものである。



小西前会長全日本ベテラン単複制覇

さる、10月7日から、名古屋東山公園テニスセンターで行なわれた、全日本ベテランテニス選手権で小西前会長(S 37年)が単複優勝された。

(パートナー広瀬均氏)単複合わせて、11回の優勝を重ねられており、これからも、益々のご活躍を期待しております。



「富士見コート移転」

富士見グラウンドの全面改修に伴ないテニスコートも野球場とアメリカラグランドの間に移転することになった。平成22年6月完成予定である。現在のコートは、昭和43年秋より今日までテニス部のメインコートとして使用してきた。昭和48年には1部校としてリーグ戦に使用し(当時は1部リーグ戦も各校コートで行われた)、対法政大戦では平井健一代表がコートに立ち、その年大学王者を獲得した早稲田大戦は5対4で勝利するなど幾多のリーグ戦の歴史を刻んだコートである。当初はクレートコートであるが、数年後に砂入り人工芝コートに改修されることとなっている。

ライフインタープライズ株式会社

〒121-0801
東京都足立区東伊興2-17-10
TEL:03-3856-9910
FAX:03-3856-3496

<業務内容>

- ◆競走馬輸送、建設資材輸送(一般貨物運送業)
- ◆LOC倶楽部(地方競馬オーナーズクラブ)
- ◆損害保険、生命保険代理店業

(昭和58年卒 井上 勇人)

BREITLING
1884

(昭和55年卒 金原 厚)

ブライトリング・ジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目2番22号 芝公園ビル TEL 03/3436-0011
FAX 03/3436-0012

特殊電線製造販売
UL・CSA 認可工場

愛三電線工業株式会社

本社・工場 ☎335 埼玉県戸田市南町5番10号
-0025 電話 代表 048(444)2300番
FAX 048(444)2302番

東京連絡所 ☎113 東京都文京区湯島3丁目7番7号
-0034 電話 東京 (3832) 0664番

(昭和54年卒 原田 豊)

平成21年度年会費ありがとうございました。

平成21年11月15日現在

卒年 OB 氏名(敬称略)

卒年 OB 氏名(敬称略)

卒年 OG 氏名(敬称略)

36年以前のOBの方々は、会費は免除になっておりますが、たくさんの方々より、寄付金としてお預かりいたしました。

Table of OB members with columns for graduation year, name, and affiliation.

Table of OB members with columns for graduation year, name, and affiliation.

Table of OG members with columns for graduation year, name, and affiliation.

創部100周年記念事業募金にご協力頂き有り難うございました。

平成21年11月現在

卒年 OB 氏名(敬省略)

卒年 OB 氏名(敬省略)

卒年 OG 氏名(敬省略)

Table of OB members for the 100th anniversary fund-raising event.

Table of OB members for the 100th anniversary fund-raising event.

Table of OG members for the 100th anniversary fund-raising event.

平成21年11月までの募金額は 5,546,821円 となりました。7年後の2016年に創部100周年を迎えます。募金目標額は1,000万円です。今後とも募金事業にご協力下さい。

100周年記念事業募金の口座案内

みずほ銀行 池袋西口支店 普通口座 1102894 立教テニス部100周年

川添元次先輩(昭和三十七年卒) 平成一十一年四月二十九日 矢部治道先輩(昭和三十三年卒) 平成一十一年二月十二日 露木陸爾先輩(昭和十七年卒) 平成一十一年三月十四日 森崎貞男先輩(昭和二十九年卒) 平成一十一年六月三十日

計報

立教大学体育会テニス部男子名簿

Table listing men's tennis club members with columns for year, department, name, position, and school.

立教大学体育会テニス部女子名簿

Table listing women's tennis club members with columns for year, department, name, position, and school.